

(書式 2)

## 学会参加報告書

提出日 2017年 8月 1日

学籍番号	17PDA06	学系	トレーニング科学系
氏名	相馬 満利		
学会等名 (正式名称)	XXVI Congress of the International Society of Biomechanics(ISB)		
開催日程	2017年 7月 23日 ~ 2017年 7月 27日		
開催場所 (国・都市名)	オーストラリア・ブリスベン		
発表演題名	Characteristics of 3-D human body shape in Japanese swimmers by using homologous body model		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p>&lt;学会の全体の印象&gt; 2017年7月23日~27日にオーストラリア・ブリスベンのBrisbane Convention &amp; Exhibition Centreで開催された第26回国際バイオメカニクス学会大会(XXVI Congress of the International Society of Biomechanics;以下 ISB)に、日本体育大学船渡研究室の先生方と参加した。今大会は、初めての国際学会とあって、全てが有意義で貴重な経験であった。 海外の初めてお会いする研究者とディスカッションすることが出来、語学の勉強はもちろん、今後の研究のモチベーションとなった。また、より一層研究に精進し、また参加できるように頑張りたいと思う。</p> <p>&lt;自分の研究と関連した発表とその内容&gt; 同じ研究をしている研究者は、今大会でお会いできなかったが、スポーツバイオメカニクスの分野では、身体の形状についてや足の形状、インソールについてなど直接ではないものの、とても勉強になった。</p> <p>&lt;自身の発表への質問・コメント&gt; 日本の研究者を含めて、14名の方が質問して下さい、ポスターの前で、ディスカッションをした。特に多かった質問は、方法論の場所であり、どんなことが出来るのか、どんなことが分かるのかといった質問が多かった。中には、色々な種目のアスリートに対するウェアを開発している会社の方も来て下さり、夢の広がるようなお話も聞けて、発表してよかったなと感じた。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後2週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。